

自己申告・家族申告プログラム導入の流れ



1 導入プログラムの選択

会員管理システム等と照らし合わせてどのプログラムが導入可能かをチェックしましょう。

会員管理システムで 得られる情報をチェック

会員管理システムで 使用金額や入店回数を調べることが…



できる場合

下記の1234の導入が可能

できない場合

下記の34の導入が可能

自己申告・家族申告プログラム



1上限金額(1日単位)



②**上限回数** (1ヵ月単位)



③ **上限時間** (1日単位)



4入店制限

※入店制限には、自己申告・家族申告(同意書あり)・家族申告(同意書なし)があります。

重要

上限時間と入店制限は 会員管理システムがなくても どのホールでも導入可能





2プログラム導入の準備

ポスター等で店内外での告知準備を整え、プログラム申込書の説明や必須事項なども確認しておきましょう。

主な準備項目

- ●ポスターや申込書等ツール
- ●運用担当者の指定
- ●会員管理システムの設定



重要

ステッカーとポスターは店内に必ず掲示



ポスターデータ等は各ホール関連団体の組合員・会員専用サイトから ダウンロード可能







3 上限金額の運用の流れ

- 1.申込書で上限金額を受付 重要1
- 2.閉店後に対象者の情報をチェック 重要2





有効期間

• **1年間**(直近の来店から3ヵ月間来店 されなかった場合は無効にできる

重要1

上限金額は非会員での把握が 難しいため申込み相談が あった場合は会員登録を薦める



重要2

会員管理システム等で申込者の 使用金額を照会・登録する マニュアルがあると便利





4 上限回数の運用の流れ

- 1.申込書で上限回数を受付 重要1
- 2.閉店後に対象者の情報をチェック 重要2





有効期間

•1年間(直近の来店から3ヵ月間来店) されなかった場合は無効にできる

重要1

上限回数は非会員での把握が 難しいため申込み相談が あった場合は会員登録を薦める



重要2

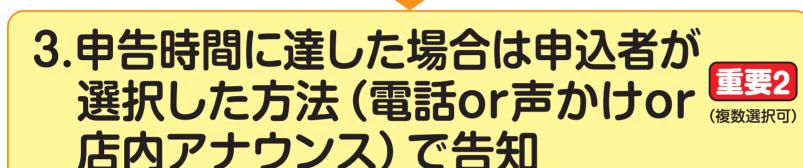
会員管理システム等で申込者の 来店状況を確認して1ヵ月の 来店回数がわかるように記録に残す





5 上限時間の運用の流れ

- 1.申込書を受付
- 2.来店の都度その日の上限時間を申告 重要1





有効期間・1年間(当日の上限時間申告が3ヵ月間されなかった場合は無効にできる

来店の都度 「上限時間・告知時刻申告リスト」に その日の上限時間と告知を 実施する時刻を申告してもらう



申告時間前に退店する場合は スタッフに伝えて キャンセルしてもらう





6 入店制限の運用の流れ

※入店制限には、自己申告・家族申告(同意書あり)・家族申告(同意書なし)があります。

1.本人または家族が申込書を提出

重要1

2.顔写真を共有して店内見回りや防犯カメラ等で確認



3.入店確認時は退店を促す



4.家族申告の場合は申告した家族に連絡

有効期間

•1年間

重要1

対象者が貯玉会員の場合は 会員カードの利用を停止する



7プログラム導入開始の報告

プログラム導入開始後は、各ホール関連団体の組合員・会員専用サイトにある

「自己申告・家族申告プログラムホール向け専用ページ」からWEB申請する。

※ご不明な点は、所属の各ホール関連団体にご連絡ください。